



信州アカデミアNEWS

2018.06.08
No.11

P1 キャリア教育・サポートセンター長よりのご挨拶

P2 連載 連携大学の活動
長野大学 松本大学

P3 信州友かもり熱中小学校 開校！

P4 ローカル・イノベーター養成コースが本格スタート

P5 海外ビジネスプラットフォームコンテストへの挑戦
くお金を集めるといふこと

P6 働くことを考える
社会人と学生のトーク企画
「しごととーく」を開催しました

P7 就職ガイダンス担当職員の想い

P7 インターンシップ
情報検索サイトが
新しくなりました！

P8 公務員講座からのメッセージ

P8 公募・助成金情報

P8 各連絡先情報

キャリア教育・サポートセンター長よりのご挨拶

信州大学（主管校）・長野大学・松本大学の3大学が、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」に平成27年末に採択されてから2年半が経過しました。COC+事業の採択を受け、本学では平成28年4月に「キャリア教育・サポートセンター」を発足させ、それまでの「キャリアサポートセンター」における就職活動支援を継続することに加え、キャリア教育、特にインターンシップの新たな取組みや、平成29年度から始まった全学横断型特別教育プログラムである「ローカル・イノベーター養成コース」の推進に力を注いでいます。

本学を中心とした事業が高く評価されたことは嬉しい限りです。昨年度までのCOC+事業で培った成果を十分に活用しながら、これまで以上に3大学間の連携と長野県内の自治体や企業等からの協力を強化し、地域が求める有能な人材養成のためのキャリア教育を推し進めていく所存です。学内の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

（理事・副学長／キャリア教育・サポートセンター長 平野吉直）



キャリア教育に関する情報はセンターHPをご覧ください！



連載 連携大学の活動

長野大学

信州学生サミット〜信州の未来は私たちが創る

長野県は日本を代表する山や川によって貴重な自然環境が構成されています。また、伝統的な暮らしや芸能、祭事、農法、食などの文化が存在し、信州は多くの魅力で溢れています。

そんな長野県には、多くの学生が地域の特産物や伝統的な生活文化を取り入れた地域活性化、課題解決に取り組んでいます。しかし、地域を元気にしようとする者同士が、お互いの活動を



信州学生サミットに参加したメンバー

知らない、地域の人にも知られないなんてもったいないと思いませんか？そこで私たちは、新たな暮らし方・生き方を信州の若者から発信することを目的に信州学生サミットを開催しました。

平成29年度は、信州学生サミット「ずくfes」と題し、上田駅水車前広場で開催しました。各団体の活動発表を各ブースで、ワークショップという形で行っていたら、各団体が開発した商品の販売やパネル紹介を行ったところ、学生のみならず多くの地域の方々が参加してくれました。また、私たちの活動に理解のある芸能団体がイベントに参加し大いに盛り上げ、今まで最高の信州学生サミットにすることが出来ました。

(環境ツーリズム学部
長谷川里咲)

地域振興と観光

COC+参加校である松本大学の講義『地域振興と観光』では、キャリア形成に欠かせない視点や地域活性化事例を学びます。授業内では、県内自治体や企業と連携し、信州大生と一緒に様々な実践演習も行っています。

『地域振興と観光』を受講して松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 柴田早希卒業後は地域に貢献できる仕事をしたいと考えていた私は、地域資源を活かした地域づくりを実践的プロジェクトの中で取り組むことができる本講義に魅力を感じ、受講しました。

特に印象に残っているプロジェクトは、「信州五縁プロジェクト」です。長野市今井にある酒蔵「酒千蔵野」の女性杜氏から「酒米不足」という相談を受け、戸隠の休耕田を活用して地元産の酒米づくりに取り組みました。

松本大学

学生や地域内外の方等幅広い世代が集い、一つ一つ丁寧に苗を植えました。私自身初めての田植えで、農業の大変さを、身をもって知りました。同時に、地域課題に直接触れる貴重な経験ができました。

私は、今春の就職活動でもこのプロジェクトを話す機会があり、企業の方にも大変興味を持って頂きました。授業は修了していますが、今年も田植えに参加し、引き続き地域に関わろうと思っています。



地元産の酒米づくりに参加しました

信州たかもり熱中小学校 開校！



「もういちど7歳の目で世界を……」をコンセプトに、平成27年10月、山形県高島町に起業家精神・最新技術・里山文化を学ぶ大人の学校「熱中小学校」が誕生しました。「熱中小学校」の名前は、始まりの地となった廃校の旧・時沢小学校が、ドラマ「熱中時代」のロケ地であったこと由来します。

熱中小学校では、企業の経営者、大学教授、デザイナー、芸術家など一流の教師陣が様々なトピックの講義を行い、地域の人材育成・異業種間交流・地域間交流・特産品開発などに取り組みます。

各都道府県に1校、地方が主役となつて開校（東京は分校）しており、長野県では高森町の旧蘭植物園のアグリ交流センターを活用して全国9番目となる「信州たかもり熱中小学校」

が誕生することに決まりました。

信州たかもり熱中小学校の校長先生は、トヨタ自動車を始め全国の経営者が教えを請いに訪れる伊那食品工業株式会社の塚越寛会長が就任されています。

そして教頭は不肖未熟の身ながら私が任を仰せつかることとなりました。地域貢献度ランキング全国トップを誇る信州大学が取り組んで来た地域活用型の研究や教育シーズを信州たかもり



開校式集合写真

熱中小学校での学びや課外活動と結びつけて、新しい科学反応を生み出したいと考えているところです。

その第1期となる開講式が、4月14日（土）リニューアルされた校舎にて執り行われました。今年の3月にオープンスクールで受講生を募集したところ、なんと102名の方々が申し込みをされ、第1期生として入学されました。

開講式は、長野県副知事の中島恵理様、宮崎こぼやし熱中小学校校長の原田英男様ほか、大勢の来賓をお迎えして開催されました。生徒代表の挨拶では、東京在住ながら登山が大好きで信州に居を構えた佐藤さんが、「今後仲間と楽しく勉強したい」と決意を語られました。

その後、「年輪経営は、へそまがり経営」と題した塚越校長の



塚越校長特別授業

特別講義で授業がスタートしました。信念を持つて、確実に積み重ねる経営スタイル・生き方は、生徒の皆さんにとつてこれまでの経験の積み重ねが確実に次の成長に繋がることを期待させるエールとなったようです。信州たかもり熱中小学校がこれからどんな地域の活力を生み出すか、楽しみです。

（准教授 林靖人）

ローカルイノベーター養成コースが本格スタート



平成29年度から全学横断特別教育プログラムの第1弾として、ローカル・イノベーター養成コースが始まりました。本コースは地域社会の現場（ローカル）が抱える問題を的確に分析し、革新的（イノベティブ）な解決策を考え、実践する人材を育てる場です。1期生は申請をした18名がスタートアップ授業の履修状況、1年次の成績、個人面談を経て受講が決定しました。

松本キャンパスに所属するメンバーは4月6日（金）の新生への学生証配布時に、地域志向およびグローバル志向に関するアンケート調査や全学横断特別教育プログラムのパンフレット配布にも参加しました。

●多くの視点から問題を見ることのできるような人間になりた
●現場で企画立案、進行していける人になるためのスキルを修得したい。

平成30年度入学の2期生向けのガイダンスは4月の2週目に4回実施し、4月9日（月）は授業初日にも関わらず11名の新生が参加してくれました。ガイダンスではローカル・イノベーター養成コースの概要と、認定科目および専用科目の取り方に
関する説明をしました。参加した学生からは下記のような期待の言葉があり、我々メンター教員もより一層身が引き締まりました。

●色んな経験や講義を通じて自分の中のアイデアを増やしたり実践力を身につけたい。

1期生の2年生は4月14日（土）に松本キャンパスに集まり、3つのスタートアップ授業を受講した学生が一堂に顔を合わせ
る初めての機会となりました。自己紹介やお互いの写真を撮るワークを通じて、メンバー同士の交流を深めました。また、信州の魅力ある資源を活用したプロジェクトをメンター教員が紹介し、自らが主体・当事者として学修成果を活かした課題解決事業に取り組むことを促しました。

学びたい学生の皆さんのために、様々な地域フィールドを活用したプロジェクトを用意しています。プロジェクトの中にはコースに所属する学生以外も参加できるものがあるので、興味のある学生は信州大学キャリア教育・サポートセンターのFacebookページをご覧ください。



2年生オリエンテーションの様子



新入生ガイダンスの様子

本格的にスタートしたローカル・イノベーター養成コースでは学部の専門に追加して、より

https://www.facebook.com/hinshu.career.education/

（講師 中西弘充）

海外ビジネスプランコンテストへの挑戦 ～お金を集めるといふこと～

今回、私たちは3月16～17日にマレーシアのクアラルンプールで行われたハルトプライズという海外ビジネスプレゼンコンテストの世界予選大会に参加しました。信州大学がこのコンテストに参加するのは初めてであり、私たちにとっても初めての試みでした。

アイデアや手続き、言語の壁など多くの越えなければならぬハードルがあった中で、私



世界予選大会に参加した Hult Prize Shinshu のメンバー

ちは資金調達に悪戦苦闘しました。渡航費や滞在費、諸経費を含めた総額60万円を自分たちで集める必要がありました。私たちはクラウドファンディングを活用して資金を集めることとしました。様々なイベントに足を運んで、自分たちの活動についてプレゼンテーションをすることでお金を援助してもらうことを繰り返し、最終的には目標金額である60万円をいろんな方から援助してもらいました。

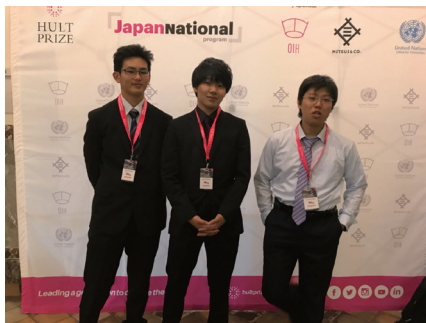
当初はこの活動を単なる資金集めという認識で取り組んでいましたが、この活動で資金を集めることの大変さや、社会の仕組みなどを学んだことで、単なる資金集めからチャンスを広げる場へと認識が変わっていきました。そうして認識が変わり、自主的な取り組みが増えたことで、多くの貴重な経験をさせて

いただきました。

例えば、私たちの取り組みを取材してもらったこと。信州ベッチャーサミットに参加した際に長野県知事と話すことができ、その後知事に招待していただいて対談させていただいたこと。

様々な起業イベントを通して出会った社会人の方にアドバイスを頂いたこと。今まではわからなかった現場の状況をしることができたこと。そういった人たちとのつながりから生まれた新しい取り組み。様々な大学生との交流で分かった信州大学の強みなど、本当に多くのことを経験することが出来ました。

最初は60万円を集めるためにイベントに参加しただけでしたが、主体的に取り組みを続けていくことで60万円では買えないような数々の貴重な経験や成長を得ることができて、自分の価値観や考え方が大きく変わりました。もし、渡航費が無料だったならばこのような経験をすることはできなかつたと思います。「ただより高い物はない」という格言を実感できたことも貴重な経験でした。



大阪で行われた日本大会にて

ハルトプライズの情報はこちらをご覧ください！



(理学部2年 宮村優希)

働くことを考える社会人と学生のトーク企画「しごとトーク」を開催しました

この企画は、面接や会社説明会とは違い、企業の方をお招きし気軽に話してみようという事を目的としています。「なぜ働くのか」「どうやって職業選択をしたのか」など、社会人の方々の対話を通して、「働き方」のイメージを具体化します。社会人の方々には直接質問を受け学生の考えを知る機会となり、学生は自分の課題(自分の強み、弱み、やりたいこと)を伝えることで、

お互いの視点から働くことについて考えます。

5月1日は松本キャンパスで7社11名の社会人と15名の学生が、5月10日には長野(工学部)キャンパスで10社14名の社会人と9名の学生が参加を頂きました。最初に社会人の皆さんから「仕事をしていて楽しい時」というテーマで学生と一対一あるいは一対二でお話頂きました。「成果が出たとき」「お客さんが喜んでくれた時」、さらには「トラブルに遭遇した時」などの意見もありました。学生達は真剣な眼差しで、率直な質問をしたり、時には笑い声も溢れたりして、リラックスをしてトークを楽しんでいました。

この後半は学生がテーマ設定をします。「自分が大学生に戻ったらどんなことをする?」「会社間の異分野交流はどんなことを

していますか?」「企業にとっての地方創生とは?」「今の仕事に就いたきっかけは?」「インターンシップに向けてやったほうが良いことは?」「自分が就活の時になりたいことはできていたか?」などのテーマについて話をしました。様々な視点で企業を知ることであったり、自身をより磨くために必要なことを考えたりと、時間があつという間に過ぎていきました。



5月1日(火) 松本キャンパスでの様子

今回参加頂いた企業は、本学が長野県と連携している信州産学官インターンシップ、大学生インターンシップで受け入れをして頂いている企業であり、学生にはインターンシップの概要を説明し、夏休みには各企業のインターンシップに参加することもできるようにしています。

この「しごとトーク」は、今回開催以降も、定期的に場所やテーマを変えながら開催してまいります。学生や社会人の皆さんの参加を、引き続きお待ちしております。



5月10日(火) 工学部での様子



○参加企業一覧(申込順・敬称略)
 (株)つばくる電機、西武観光バス(株)、
 天竜精機(株)、(株)南信精機製作所、
 (株)デリカ、マリモ電子工業(株)、北
 信商建(株)、木下建工(株)、日亜化学
 工業(株)、知識工学(株)、(株)エーシー
 エ設計、(株)エイブルデザイン、長
 野県
 (助教 勝亦達夫)

就職ガイダンス担当職員の想い



4年生・修士2年生向けの就職ガイダンス・イベントが一段落したと思うのも束の間、5月からは3年生・修士1年生向けの就職ガイダンスがスタートしています。特に工学部では昨年の同じガイダンスと比べて約100名も参加者が増えました。アンケートからは、「売り手市場」と呼ばれ、学生が有利とされている状況とはいえ、初めてしっかり意識することになった就職活動に対して不安を覚える方が多かつたように思います。その中でガイダンスに参加し、これからに繋げようと考えてくれた学生の皆さんが増えたことに、担当者としても嬉しくなりました。

今後の予定としては、前期だけでもインターシップ準備講座、業界・企業研究講座、就活マナー講座と様々なニーズに合

わせたガイダンスを開催していきますので、まずは夏のインターシップに向けて、進路を少しずつ考えていって欲しいと思います。さて、4年生・修士2年生については、面接練習や履歴書の添削、就職相談でキャリア教育・サポートセンターを利用していただく学生さんから、内々定の報告が寄せられるようになりました。エントリーシートが書けなかつ



席が足りなくなるほどの会場もありました



ガイダンス講師も熱が入ります

た、面接が苦手だったなど、センターの利用目的は様々でしたが、その対策を通し自分と向き合うことで、社会人として必要となる力も無意識のうちに併せて培ったのではないかと思います。

一部の企業や公務員など、まだまだヤマはこれから！という皆さんも多くいると思いますが、ぜひ最後まで悔いのない就活をして欲しいと願っています。

(係員 佐藤貴史)

「キャンパス情報」の
インターシップ
情報検索サイトが
新しくなりました！

「キャンパス情報」内のインターシップ情報検索サイトをリニューアルしました。

業種やインターシップの実施日数、開催地等から検索することが可能です。この機会に、どのようなインターシップ情報が掲載されているのかアクセスしてみてください。また、インターシップへの参加を考えている方は、今後キャリア教育・サポートセンターが主催する「就活・インターシップマナー基礎講座」を受講し、準備をして臨みましょう。

(キャリア教育・サポートセンター 新村志保)

キャンパス情報
(学内限定)



公務員講座からのメッセージ



公務員講座事務局の田島です。公務員試験は4月29日(日)に国家総合職で始まり、5月の都庁・裁判所、警察官などを経て、6月は国税専門官、国家一般職、そして6月24日(日)、多くの方が受験する地方上級(都道府県庁・市役所等)試験が行われます。公務員を目指す皆さん、これからこれまで取り組んできた復習を総合的に行っていきましょう。

新たな問題集で点数の上積みを狙うのではなく、取り組んできた問題の類似問題で「確実に正答」できるようにしてください。この時期、天候が不安定で体調を崩しがちです。試験当日のスケジュールを確認し、早寝早起きのリズムを整えていきましょう。まずは一次試験突破に向けて、頑張ってください。



ご紹介した記事について、
もっと知りたい場合はこちら！

P2
長野大学
「ずく fes」



P2
信州五縁
プロジェクト



P3
信州たかもり
熱中小学校



P4
ローカル・
イノベーション
養成コース



公募・助成金情報

◆ヤンマー資源循環支援機構
2019年度助成事業

【締切】2018年8月10日

【内容】農林水産業の振興及び資源循環型社会の実現に資する基礎研究、技術開発、実証等に対する支援。

(1) 資源循環型の持続可能な農林水産業に貢献する取組み

(2) 農林水産資源の利活用

【金額】①一般公募助成 1件あたり助成金は200万円を上限とする。②学生公募助成 1件あたり助成金は20万円〜50万円。

【WEB】詳細はホームページをご覧ください。



◆野村マネジメント・スクール2018年度学術研究支援

【締切】2018年6月30日

【内容】経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメント等に関する調査・研究プロジェクトに対する助成。

【応募資格】わが国の大学等において常勤の職に就き、経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメントを中心とする分野の研究に従事する個人

または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ。

【金額】1件最大100万円。

【WEB】詳細はホームページをご覧ください。



平成30年 6月8日 発行

発行・編集・信州大学

信州アカデミア事務局

〒390-1862
長野県松本市旭3丁目1番1号 C S M I T 内
☎0263-13712075 Ⓔ0263-13712076

